

秋田駒ヶ岳の火山活動解説資料（平成 23 年 7 月）

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

めだけ
女岳では、2009 年から 2010 年 12 月にかけて地熱域の拡大が認められています。

地震活動は低調で、東北地方整備局の監視カメラでは噴気はみられず、ただちに噴火する兆候は認められませんが、今後の火山活動の推移に注意する必要があります。

平成21年10月27日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 2～3）

女岳では、2009 年 8 月に北東斜面で噴気地熱域が確認され、2010 年 4 月にかけて地熱域が拡大しました。また、2010 年 9 月から 12 月にかけても、北斜面、山頂付近、北東斜面のそれぞれ一部で新たな地熱域が確認され、地熱域の拡大が認められています。2011 年 5 月の現地調査では、北東斜面、北斜面及び山頂北部の噴気地熱域に特段の変化は認められませんでした。

東北地方整備局が仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置した監視カメラでは、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 4～5）

火山性地震は少ない状況が続いています。火山性微動は観測されませんでした。



図 1 秋田駒ヶ岳 観測点配置図

（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。

小さな黒丸は他機関の観測点位置を示しています。）

（東）：東北大学 （東地）：東北地方整備局

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 23 年 8 月分）は平成 23 年 9 月 8 日に発表する予定です。

※この記号の資料は、気象庁のデータの他、国土交通省東北地方整備局、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。



図 2※ 秋田駒ヶ岳 監視カメラの映像（2011 年 7 月 21 日 09 時 00 分頃）
仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置してある監視カメラ（東北地方整備局）による。

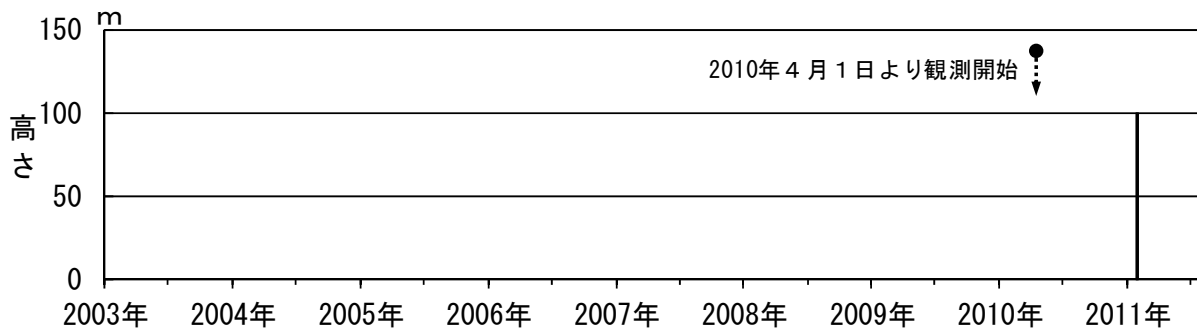


図 3※ 秋田駒ヶ岳 日最大噴気の高さ（2010 年 4 月～2011 年 7 月）
仙岩峠（女岳山頂の南約 5 km）に設置してある監視カメラ（東北地方整備局）による。

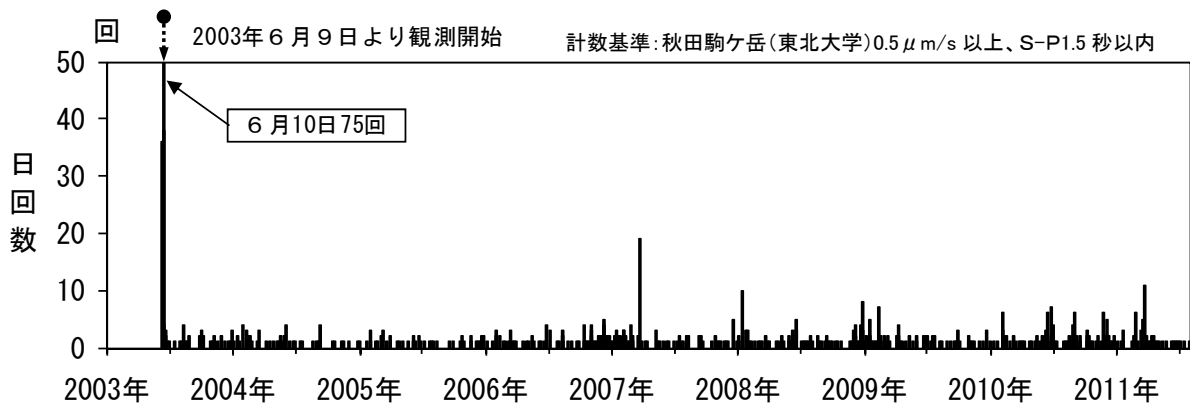


図 4※ 秋田駒ヶ岳 日別地震回数（2003 年 6 月～2011 年 7 月）

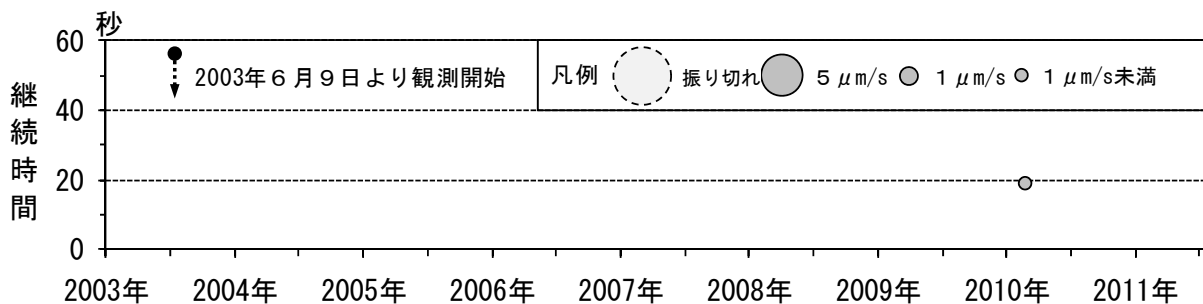


図 5※ 秋田駒ヶ岳 微動の継続時間と上下動最大振幅（2003 年 6 月～2011 年 7 月）
東北大学秋田駒ヶ岳観測点による。